

新学年・学級にも慣れ、大きな行事もない今は充実した学習ができる時期です。今回は、学校で行っている様々な活動の一端をご紹介します。

自分で皮むきして食べる

月曜日に給食で出たとうもろこしは1年生がむいてくれたものでした。

1年生はまずは緑の皮をむきました。薄いけど、実は何枚もあって一苦労。けっこう力も必要です。

そうして粒が出てきました。でも、子どもたちが注目したのはひげの方。「ひげがいっぱい。」「ひげと粒がつながってる。」…

粒を見ても「一つ一つ色が違う。」「大きさも。」…自分で皮むきをしたからこそその発見がいっぱいありました。

その後に食べた給食も、自分でしたからこそのおいしさだったようです。

今は検索をすればすぐに動画を見ることができ、疑似体験を通してわかったような気になりますが、やはり体験しないとわからないことってたくさんあるようです。

実感を伴うよい学習ができました。



人権集会

木曜日に人権集会を行いました。

各学年が自分たちで考えた「なかよし宣言」を発表しました。

- 友達のいいね！をいっぱい見つけて伝える。
- うれしい言葉をいっぱい使う。
- 相手の気持ちを本気で考える。
- いつでも仲良くできているかを考える。

自分も友達も大切にする大切さを分かち合いました。最後は「虹」を手話つきで合唱し、心が温かくなる集会となりました。



プール開き

今週から水泳の授業が始まりました。まずは1年ぶりの水の冷たさに…、次に水の気持ちよさに…、プールに子どもたちの声が響きます。ご家庭には水着やプールカードの準備、体調管理等いろいろとご協力をいただき、ありがとうございます。



学校探検(1,2年生)

水曜日の2時間目、2年生が1年生を連れて学校探検を行いました。各教室の入り口には2年生が書いた案内プリントが貼ってあり、それを2年生が読んだり、自分が知っていることを話したりしながら、やさしく学校のことを教えていました。

どちらもかわいく、一学年しか変わりませんが、さすがはお姉さん、お兄さんだと思わせるお世話ぶりでした。



県立装飾古墳館へ

水曜日、6年生は見学旅行に出かけました。

現地では見学だけでなく、勾玉づくりや火おこしを実際に行い、学びを深めました。世界に一つしかない勾玉づくり、時間を忘れて没頭した子もいたようです。やはり実感を伴う学びって大切です。



うれしい卒業生の姿

先週、幼小中連携の研修会で竜南中の授業を参観しました。先輩たち(清水小卒業生)はみんなよくがんばっていました。その後、中学校などの先生たちと小中のつながりや共通実践について協議しました。

